

一般質問



妊娠・出産・子育てへの 切れ目のない支援について

問 子育て世代包括支援センターを設置し、段階に応じた窓口の体制強化とプライバシーに配慮した相談室、人材の

確保が必要であるが見解は。

答 相談のスペースや専門職などの人材確保は十分とは言えない状況もある。

切れ目のないワンストップ拠点の設置に向け、運営の手法や医療機関などとの連携のあり方、人材確保などについて検討を進めていきたい。

問 産前産後ケアの取り組みについて考え方を聞きたい。

答 妊産婦や乳児と保護者の相談、仲間づくりのための事業などを実施している。

個別のケアが必要な妊産婦

に対しては、保健師等による継続した支援、医療機関などとの連携といった包括的な支援体制の構築が重要になる。

本市の実態に合った産前産後ケアの実現に向けて取り組んでいきたい。

教育行政について

問 コミュニティースクールの導入について聞きたい。

答 実態に即した効果的で実効性のある新しい制度の検討も含め、今後も研究を行う。



おおむたスーパープレミアム 商品券発行事業の効果は

問 本市への効果を聞きたい。
答 昨年比で発行額が2.5倍、登録店舗数が1.8倍になるなど地域経済の振興につながる。

問 割引購入券使用が半分も使われていないが市の考えは。

答 結果だけを見ると、購入が難しい方もいたと考える。

再発言 対象者にも格差があったと思われる。次に同様の事業があるときは、金額を下げるなど配慮されたい。

いただき、また、8月に多目的トイレをご寄付いただいた。

再発言 市内の多目的トイレなどのマークを様々なパンフレットなどに掲載されたい。

国連障害者権利条約と これからのまちづくり

問 条約が求める障害がある人との平等な共生社会の実現に向けた障害者差別解消法の準備体制を聞きたい。

答 障害者自立支援協議会で、差別解消に向けた取り組みを官民一体となって進めている。

り組むべきでは。

答 これまで本市の情報発信に努めてきたが、PRが不足との意見もあることから、庁内で情報発信プロジェクトを立ち上げ、魅力発信に特化した取り組みを始めた。

また、先進地の事例調査や研究を行い、魅力ある地域発信のあり方や今後の推進体制を検討している。さらに、シティープロモーションに関する戦略等をつくる必要があると考えており、推進体制を整えた上で取り組んでいきたい。



本市の振興に向けた 消費拡大

問 世界遺産登録に伴い、本市への来訪者は、7月と8月で延べ約3万人。今後、消費拡大につなげていく必要があ

ると思うが、考えを聞きたい。

答 来訪者をもてなす環境整備としてガイダンス機能を充実し、本市の食文化に関わる店舗紹介やルート案内による市内回遊など、関係機関や事業者と協力しながらおもてなしや地域の活性化に努めたい。

シティーセールスによる 戦略

問 シティーセールスにより人口増加が進んでいる自治体がある。本市も計画や戦略をまとめ、官民一体となって取